

大学発ベンチャー創出を加速する支援とは？

8月30日（水） 9:20-10:50 会場D（4階）

我が国経済が持続的な発展を続けていくためにはイノベーションの連続的な創出が必要であり、大学発ベンチャーは、大学の優れた研究成果を新規性の高い製品・サービスとして事業化することにより、新市場の創出を目指す「イノベーション」の担い手として高く期待されています。平成29年6月9日に取りまとめられた「未来投資戦略2017—Society 5.0 の実現に向けた改革—」においても、「イノベーション・ベンチャーを生み出す好循環システム」構築の必要性が指摘されており、この実現のため、「学」の中核機能の強化と並び、強い分野への集中投資、さらには、ベンチャー支援への取り組みを強化する方針が示されています。

これまでも各大学において大学発ベンチャーの創出・成長支援のための様々な取り組みが実施されていますが、このような状況を踏まえ、大学が取り組むべきベンチャー支援とともに、URAとしてベンチャー支援にどのように関わるべきかを、改めて検討する機会が必要であると考えられます。

本セッションでは、大学以外の幅広い立場の有識者の方々に、これまでの大学発ベンチャー支援の取り組み等をご紹介いただくとともに、それぞれの視点から、ベンチャー・エコシステムの構築に向けて、大学に期待されるベンチャー支援の方向性やURAとしての関与の在り方についてご講演いただきます。

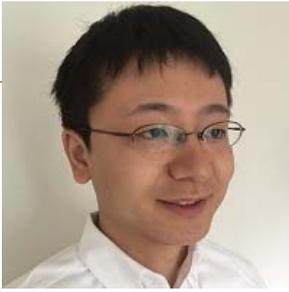
オーガナイザー



角田 哲啓：信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
准教授

東京理科大学工学部工業化学科卒業。経済産業省関東経済産業局、（国研）新エネルギー産業技術・総合開発機構等を経て、2016年より信州大学に着任。

講演者


小林 優輔：経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室
室長補佐

京都大学大学院工学研究科博士課程退学後、京都大学経営管理研究部・経営研究センター特定研究員、SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術課題特定研究員、官民協働まちづくり実践講座研究員、京都大学学術研究支援室リサーチ・アドミニストレーターなどを経て、経済産業省産業技術環境局大学連携推進室室長補佐に至る。


合田(剛) ジョージ：株式会社ゼロワンブースター
共同代表・取締役

(株)ゼロワンブースター共同代表。MBA、理工学修士。東芝の重電系研究所・設計、国際アライアンスや海外製造によるデザイン家電の商品企画。村田製作所にて、北米およびMotorolaの通信デバイス技術営業後、通信分野の全社戦略に携わる。スマートフォン広告のNobot社のマーケティングや海外展開を指揮、KDDIグループによる買収後には、M&Aの調整、グループ子会社の海外戦略部部長。現在は01Boosterにて事業創造アクセラレーターをアジアで展開中。